



Title	大阪大学低温センターだより No.8 裏表紙
Author(s)	
Citation	大阪大学低温センターだより. 1974, 8
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/22234
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

吹田地区運営委員会報告

49. 7. 9.

1. 共同利用実験装置の使用を次の通り承認した。

- 100KGauss超電導マグネット：岡田東一（工，原子力），白藤純嗣（工・電気）
- 光学用50KGauss超電導マグネット：白藤純嗣（工・電気），浜口智尋（工・電子）
- シングル50KGauss超電導マグネット：山田朝治（工・精密），村上吉繁（工・電気），井上崇（工・電気）
- クライオミニ：白藤純嗣（工・電気），中島信一（工・応物）

2. 48年度決算報告を原案通り承認した。

3. 49年7月1日より液化ガス供給価格を改訂することにした。

なお，液体ヘリウムについては今回より貯液量と供給時の蒸発量の和を供給量とする。

4. 49年度支出計画を承認した。

5. 吹田分室の業務報告があった。

編集後記

低温センターだよりもお蔭様で8号を重ね，満2年を経過しました。その間に，豊中分室の1958年から活躍していたヘリウム液化機は引退し，新鋭のCTI液化機が順調に活動を始めました。現在，液化機は幾らでも需要に応じてくれますが，研究費はインフレで実質的減少という皮肉な巡り合せになっています。新しい水素液化機の工事も今年度中に完成する予定です。吹田分室も設備の充実が行われ，利用者が着実に殖えてきています。関係者の尽力を謝すと共に，今後の研究の発展を期待します。過去のこの小冊子を繰りますと，低温の利用は理科系の全分野に亘っていることがわかります。これらの記事が研究内容・低温技術の紹介に役立ち，さらに詳しい情報を求めて電話による問合せ等の契機をつくるならばこの小冊子の喜びです。そのため今回より執筆者名にキャンパスと学内電話番号を併記することにした。利用を願うと共にこの小冊子を賑やかにするための話題の提供をお願いします。

（西田 記）

大阪大学低温センターだより 第8号

昭和49年10月発行

編集責任者 長谷田 泰一郎

発行者 大阪大学低温センター

吹田分室 大阪府吹田市字山田上

電話(06)877-5111

内線 4105

豊中分室 大阪府豊中市待兼山町

電話(06)856-1151

内線 2562

印刷所 とうけん社

大阪市福島区海老江下2-11

電話(06)451-1061

代表 村上喜与志